
最後の鎮魂歌《ラストレクイエム》

ファイアドレイク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ラストレクイエム
最後の鎮魂歌

【コード】

N98090

【作者名】

ファイアドレイク

【あらすじ】

宗教戦争を前にして、音楽家とその弟子は何を思っているのか。

「素晴らしい。なんと素晴らしい。これこそが、私の求めた戦争だ。例え世界中を探そうとも、これに勝る戦争を見つけないことは容易くないだろう。それぐらい、この戦争は素晴らしい。何が素晴らしいかと、いちいち説明する必要があるのかい？血生臭い？それがまたいいじゃないか。死者たちの悲鳴が」

「一人で勝手に喋らないでください」

そういつて、僕は師匠の言葉を遮った。師匠は最近、レクイエム鎮魂歌を作ることにはまっている。

だから、今日だって雨の降りしきる中、なんとか宗教戦争の真っ只中にいるのだ。

もう、戦っている兵士たちにとって宗教などどうでもいいのだろう。ただ殺し、殺される。それが目的。だってそうだろう。あそこで戦っている人殺しの集団が、信心深いなんて到底考えられない。

どうせ、地下に埋まってる宝石やら資源やらが欲しいだけに決まっている。聖書もコーランも、彼らにとってはただの紙切れ未満なのだろう。

「君、師匠に対してそんな口を聞くな」

「だって師匠、ここには戦争を“聞きに来た”わけじゃないでしょ」

そうだ。僕たちは戦争を見物しに来たわけじゃない。見るのではなく――

「さて、“聴く”準備を始めようか」

そう。見るのではなく、“聴く”のである。師匠が急に静かになる。それは創作の前の静けさ。

師匠曰わく、実際に人が死んでいる場所でないレクイエムと鎮魂歌は作れないそう。

「だから、今日も宗教戦争を聴きに行くぞ」

「そのうち、先生のために鎮魂歌レクイエムを作らなきゃいけなくなりますよ」
「私は不死身だ！……この世から戦争が消えるまでは」
そう。師匠は世界が平和であって欲しいと思って、鎮魂歌レクイエムを作っている。

毎回、毎回。これが最後の鎮魂歌ラストレクイエムになって欲しいと想いを込めて。だから題名はいつも“最後の鎮魂歌ラストレクイエム”

口ではあんなことを言っているけど、結局は師匠はお人好しで、僕はそんな師匠が好きなのだ。

「これで、今日は終わりとするか。帰るぞ」

「明日はもう、先生が鎮魂歌レクイエムを作らずに済みますように……」

「ん？なんか言ったか？」

いけない。つい声に出してしまった。声には出ない、出せないけど、みんな、みんなそう思ってるはず。

(後書き)

即興でSSを書きました。

もしこんな未熟者にかまう時間があれば、コメントを下さい。どんなものでもいいです。本当に切実な願いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9809o/>

最後の鎮魂歌《ラストレクイエム》

2011年10月8日07時14分発行